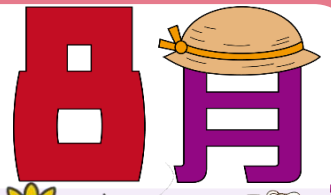




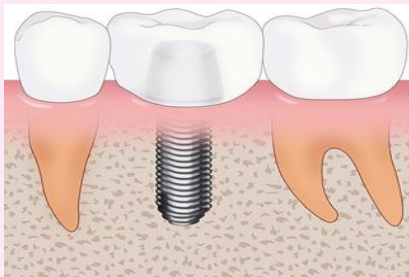
# まつえだより



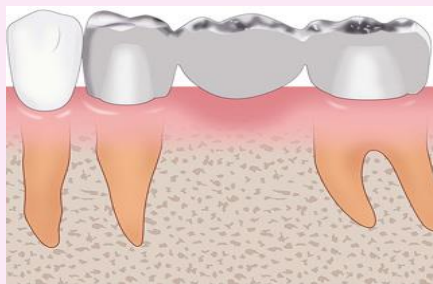
8月号は、  
**インプラントとブリッジの比較を**  
ご紹介させていただきます。



歯がなくなった場合には、主にインプラント治療、ブリッジ治療、  
入れ歯治療の3種類の治療方法があります。  
ここではインプラント治療とブリッジ治療の違いについて説明します。



**インプラント治療**とは、  
歯が無くなったところの骨に、  
人工の歯根（チタン製）を埋め込みます。  
その人工歯根の上に土台（アバットメント）を  
たて、歯を被せる治療法です。



**ブリッジ治療**とは、  
無くなった歯の前後にある歯を削り、  
それを土台とした被せ物を作ります。  
前後の被せ物と欠損部のダミーの  
歯は3本一体で、入れ歯のような  
取り外し式ではありません。



	インプラント	ブリッジ
歯を削る	なし	あり
解剖学的制約 (適用範囲)	受ける	受けない
外科処置	あり	なし
トラブル	特有のトラブルあり	通常の歯と同様
咬合力・咀嚼能率	100~80% (天然歯と比較)	100~60% (天然歯と比較)
咬合力の負担	人工の歯根で負担	前後の歯で負担
違和感	なし	
審美性	被せ物によって自由に選択	
長期安定性	10年残存率90%以上	10年残存率50~70%
メンテナンス	天然歯と同様に必要	
費用	保険適用なし	保険適用あり
期間	最短でも2~3ヶ月	2~3週間

## インプラントとブリッジの比較 ポイントまとめ

インプラント治療とブリッジ治療を比較する上で大きな違いの一つに、前後の歯を削るというポイントがあります。前後の歯が過去に処置をされていない健康な歯の場合、ブリッジ治療は歯にとって大きなマイナスになります。しかし欠損部分の前後の歯がすでに被せ物で治療されている場合は、このポイントの優先順位は低くなります。このように残っている歯の状態や解剖学的な状態等により、メリット・デメリット、トラブルの有無や平均寿命、費用や期間などは変わります。歯科医院で検査を受け、あなた自身の現在の状態を知り、それに基づくメリット・デメリット、治療後の見通しなどの説明を受けてから判断してくださいね

